

CSW60

Commission on the
Status of Women

14-24 March 2016

WOMEN'S EMPOWERMENT | SUSTAINABLE DEVELOPMENT



第60回CSW報告

国連女性の地位委員会日本代表
十文字中学高等学校長
橋本ヒロ子

第60回CSWの日程及び内容

2016年3月14-24日

- 優先テーマ 女性のエンパワーメントと持続可能な開発の関連性
- レビューテーマ 女性・女兒に対する暴力の撤廃・防止
- 日本(国連代表部)はビューローメンバーとして、いくつかのセッションの議長を担当



今回CSWの特徴

1. CSWの進め方が大きく変わった。

- 閣僚級セッションが2つ設定 ボランタリープレゼンテーションを含めると3つ設定(昨年まではハイレベルという表現で大臣級(ministerial)という表現は使われていなかった。そのため、日本も外務副大臣が出席。
- 閣僚級によるボランタリープレゼンテーションがレビューテーマの「女性や少女に対する暴力廃止」をテーマに実施され、日本も武藤副大臣と橋本で行った。
- 閣僚とNGOとの意見交換セッションが設けられた。

2. ユースのセッションがCSW開催前に2日間開催され、CSWでインプットがされた。

3. 合意結論の検討に1週目の金曜日から翌週の木曜日まで、長時間深夜までかかった。



優先テーマ:女性のエンパワーメントと持続可能な開発の関連性

閣僚級セグメント1 ラウンドテーブル(14日15-18時)

A. ジェンダー平等(GE)と女性のエンパワーメント(WE)のための国組織・制度の強化

B. GEとWEのための規範的, 法的かつ政策的な枠組みの強化

又は

C. 2030アジェンダにおけるGEとWEのための資金

D. ジェンダーに対応したデータデザイン, 収集及び分析の発展

閣僚級セグメント2 当初、市民社会との閣僚級インタラクティブセッション(16日10-12時)となっていたが、会議後には閣僚間のインタラクティブダイアログに変更

持続可能な開発のための2030アジェンダのジェンダーに対応した実施に向けた連携構築



優先テーマ 女性のエンパワーメントと持続可能な開発の関連性

(4) 専門家パネル (16-17日)

① 持続可能な開発のための2030アジェンダのジェンダーに対応した実施における主要戦略(16日15-18時)

② 持続可能な開発のための2030アジェンダのジェンダーに対応した実施における参加と連携(17日10-13時)

(5) 合意結論の審議(18日から24日まで) 政府代表団のみのclosedが多い。ネット上にビューロー案2016年2月12日版 4p 37パラ、その後各国代表部が意見を出し35p。最終版は12p 70パラ



1-2 レビューテーマ 女性・女兒に対する暴力の撤廃・防止。

(1) Voluntary presentation (15日 いくつかの国、アジアからは日本と中国等 1国 政治家、政府、NGOの混成チームで15分の発表のあとQAセッション)

(2) 専門家パネル データギャップと方法の問題(17日15-18時)

1-3 通報作業部会報告書の検討に関する会合 (closed)

1-4 決議案の検討 CSWの多年度(2017, 18, 19)作業プログラムに関する決議も含む



3. プログラムの概要

1) 開会式

通常の開会式では、事務総長、ECOSOC議長、総会副議長、UN Women事務局長の議題説明挨拶、CEDAW委員長の報告であるが、今年はCSW開催前11-12日にユースフォーラムが開催され、その報告、また、女性に対する暴力特別報告官の報告

総会議長:SDGsは北京行動綱領からの大きな進歩。
CSWは男女平等のWatch dog SDGsはゴール5だけでなく全体がジェンダー平等であり、ジェンダー主流化

国連事務総長 今年末に任期終了 UNハイレベルで女性の登用

UN Women 事務局長 だれも取り残されない(No one left behind)ことが重要。



閣僚級セグメント1 ラウンドテーブル (14日15-18時)

A. ジェンダー平等(GE)と女性のエンパ ワースメント(WE)のための国組織・制度の 強化

武藤副大臣司会(今年日本は議長団に入っているため、副大臣がAの司会を担当(日本語で同通付))

B. GEとWEのための規範的, 法的かつ政策的な枠組みの強化



閣僚級セグメント2

当初、市民社会との閣僚級インタラクティブセッション(16日10-12時)となっていたが、会議後には閣僚間のインタラクティブダイアログに変更されていた。

テーマ:持続可能な開発のための2030アジェンダのジェンダーに対応した実施に向けた連携構築

ノルウェー、南スーダン、韓国、ポーランド、ウガンダ、ジョルダン、インドネシア、コロンビア、リヒテンシュタイン、ドミニカ、モザンビーク、フランス、南ア、キューバ、などの大臣が市民社会との連携を中心に発表し、そのあとで市民社会が発表。



5) 専門家パネル (16-17日)

① 持続可能な開発のための2030アジェンダのジェンダーに対応した実施における主要戦略(16日15-18時)

ジェンダー平等政策推進政策予算、女性団体への資金提供、ナショナルマシナリー、統計局、NGO等との連携

② 持続可能な開発のための2030アジェンダのジェンダーに対応した実施における参加と連携(17日10-13時)

データギャップと方法論など



レビューテーマ 女性・女児に対する暴力の
撤廃・防止関連。

1) Voluntary presentation (15日午前
2セッション6か国 Brazil, China, Turkey、
Egypt, Japan, Estonia午後2セッション4か国
Costa Rica, Romania, Sweden, Tunisia)、ア
ジアからは日本と中国のみ 1国 政治家、政府、
NGOの混成チームで15分の発表のあとQAセッ
ション)

日本:武藤副大臣が最初に趣旨説明、引き続き
橋本がパワポでプレゼン



4. 日本国連代表部及び国際機関、他国代表部、市民社会共催のイベント

1) 日本代表部と日本の市民社会共催

① 日本及びスイス代表部と人権高等弁務官事務所

- テーマ: Implementing SDG5: strengthening normative legal and policy frameworks

② 日本の3NGO共催サイドイベント

2) 日本代表部と他国

① 3月15日 13:15-14:30 イタリア代表部

テーマ: 女性の意思決定への参加

イタリア、日本、ベルギー、ブルガリア各代表部

② 3月18日 15時から アメリカ代表部。アメリカ、日本、韓国、英国、オーストラリアの各代表部が共催。

テーマ: 脱北女性の声



3) 日本代表部とUN WOMEN

①3月15－16日WEPs年次会合

3月15日のフォーラムで日本のWEPsについて報告

②3月22日18:30－19:45 CR7 UNWomenジェンダー平等基金に日本政府が拠出したレバノンでのプロジェクトの報告 UNWomen事務局長に続き、橋本は開会あいさつ

5. 日本からの日本政府代表団員

主席代表武藤副大臣及び秘書官 日本代表(1) 外務省(2)、内閣府(4)、厚生労働省(1)、文部科学省(1)、JICA(3)、国立女性教育会館(2)、NGO代表(1)



1. 合意結論

1) ジェンダー関連で議論となった部分 A 妥協1

① **Sexual and reproductive health and reproductive rights**については、ICPD, 北京行動綱領、成果文書等を沿って**in accordance with**という表現を入れる

② ジェンダー統計についてはロシアだけが強硬に反対したが、統計局の定義を事務局が説明して入った。

③ ロシアはさらに、VAWの具体的内容を上げることに反対したので、SDGsの5.2, 5.3のターゲットとインディケータに入っていると話に行ったら、サウジなどが留保するといった。(私は事務局だと思われたようだ。)最終的にdataのparaからは削除されVAWと言う表現になった。しかし、violenceのpara15で入った。women human rights defendersの支援・保護についても削除要求があったが、残った。

1. 合意結論

1) ジェンダー関連で議論となった部分 A 妥協 2

④インドがmen and boys (Engage men and boys...)のパラで、gender responsive implementationの概念はジェンダーといっているから、すべてに男性もかかわるのに、なぜ fully engage men and boyといわないといけないのかと発言。すぐに事務局が来て、ちょうど隣に座っていた私、それ以外の人もインドの書記官のところに集まって説得し、渋々納得

⑤2月29日の2版including access to, ownership of, and control over land, property and inheritance rightsが入った(EU、スイス、USA)アフリカングループは、access to productive sources such as land and credit。しかし、北京行動綱領では入っている。2014年のMDGsの評価に関する合意結論ではwomen's equal access to, control and ownership of assets and productive resources including land, energy and fuel, and women's inheritance rights



B.EU等が提案・挿入したが、やはり削除することで合意

①sexual orientation EU中心にもっと進んだ内容をと
いう考えからか、2月29日の案に入り、14日の案までは、p
p23に sexual orientationが入っていたが、20日の案で
は削除要求があったことが明記され、23日の案では、再
度要望があったという注がついていたが、最終の24日の
朝7時の案からは削除されていた。

②EU, ノルウェー、アイスランド、フィリピンなどにより
comprehensive sexuality educationが入ったが、アフリ
カングループ、中国も反対し、削除された。

③Families: 3月18日にEUからfamilies which exist in
various formsの提案(欧米、ラテンアメリカ支持)。High-
Level Task Force for ICPD Secretariat から提案され
ていたthe family, which exists in various formsが24
日朝7時のバージョンに入ったが、削除。



日本が検討する必要のある内容例

①2月29日の2版でequal pay for equal work or work of equal value 同一価値労働同一賃金(オーストラリア, カナダ, アイスランド, リヒテンシュタイン, ニュージーランド, ノルウエー, スイス, トルコ, アフリカグループ, キューバなど、パラ10(北京行動綱領でも述べられている) アフリカグループでも提案国に入っているが、日本は入っていない。国内の整備をして、提案国に入ることを期待。



2. 決議 (4本)

- ①「パレスティナ女性の状況と支援」投票 賛成 20 反対2
米国、イスラエル 棄権11 欠席 レソト、ケニヤ、等
 - アメリカが反対理由説明、EU (Finland)、日本などが棄権理由ステートメント(齋藤公使)
 - イスラエルがパレスティナ女性は国内で差別されている。事務総長の報告書を言及
 - パレスティナが賛成に投票をしてくれた開発途上国、パレスティナ女性を支援してくれる先進国に感謝表明
- ②「少女たちの人質 アゼルバイジャンが提案理由の説明 一部修正
- ③女性、少女とHIVエイズ この決議の検討にも時間がかかり、24日に予定していた決議案の採択では、HIV以外の決議案が採択され、HIVは合意結論の前に採択された。
- ④CSWの今後3年間の作業計画CSWの多年度(2017, 18, 19)作業プログラム 2018年に原案になかった農山漁村女性のエンパワーメントが入った。



第61回CSWについて

1) 優先テーマ: 変わりゆく仕事の世界での女性の経済的エンパワーメント (women's economic empowerment in the changing world of work)

2) レビューテーマ: 女性及び少女のためのMDGsの実施における成果とチャレンジ 第58回CSWの合意結論 (challenges and achievements in the implementation of the Millennium Development Goals for women and girls)

